

# ウイン・パートナーズ株式会社

## 2015年3月期

### 第2四半期 決算説明資料

ウイン・パートナーズ株式会社  
WIN-Partners Co., Ltd.



証券コード : 3183



# 2015年3月期 第2四半期決算概要

---

**4月 保険償還価格の改定**

**子会社の福島県の営業所を統合**

**5月 東京証券取引所 市場第二部への市場変更**

**6月 広島県に小規模営業拠点を開設**

**8月 熊本県に小規模営業拠点を開設**

**9月 東京証券取引所 市場第一部へ昇格**

**テスコ本社兼倉庫を移転増強**

## 償還価格改定期だが、増収増益を達成

(単位:百万円)

	前期上期	当期上期	前年同期比	期初計画
売上高	22,230	<b>23,590</b>	+6.1%	24,342
営業利益	1,051	<b>1,093</b>	+4.0%	1,060
経常利益	1,059	<b>1,101</b>	+4.0%	1,063
四半期純利益	1,021	<b>706</b>	▲30.8%	651
1株当たり四半期純利益(円)	71.14	<b>49.20</b>	-	45.41
1株当たり純資産(円)	726.27	<b>801.05</b>	-	-

	前期上期		当期上期	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	22,230	100.0	23,590	100.0
売上原価	19,226	86.5	20,453	86.7
売上総利益	3,003	13.5	3,136	13.3
販売管理費	1,952	8.8	2,043	8.7
営業利益	1,051	4.7	1,093	4.6
営業外収益	8	0.0	8	0.0
営業外費用	0	0.0	0	0.0
経常利益	1,059	4.8	1,101	4.7
特別利益	377	1.7	4	0.0
特別損失	0	0.0	0	0.0
税前利益	1,435	6.5	1,105	4.7
税金費用	414	1.9	399	1.7
四半期純利益	1,021	4.6	706	3.0

## 当社グループへの影響（対売上高） **▲5.7%**

製品分類	特定保険医療材料の償還価格(千円)		売上高に対する 影響度(%)
	2012年	2014年	
虚血性心疾患関連(PCI)	-	-	<b>▲8.5</b>
PTCAバルーンカテーテル(PTCA-BC)	79	67	▲14.9
薬剤溶出ステント(DES)	295	261	▲11.5
血管内超音波(IVUS)診断カテーテル	115	109	▲5.2
心臓律動管理関連(CRS)	-	-	<b>▲4.6</b>
ペースメーカー	1,000	827	▲17.3
ペースメーカー *MRI対応型	※ (1,050)	1,040	▲1.0
植込型除細動器(ICD)	3,060	2,970	▲2.9
両室ペースメーカー機能付植込型除細動器(CRTD)	4,090	4,040	▲1.2
心筋焼灼術用(ABL:アブレーション)カテーテル	158	149	▲5.2
心臓血管外科関連(CVS)	-	-	<b>▲2.0</b>
ステントグラフト(腹部)	1,520	1,510	▲2.4
経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)用生体弁	※ (4,530)	4,650	+2.6
末梢血管疾患関連(PPI)	-	-	<b>▲5.6</b>
脳外科関連	-	-	▲1.2
合計	-	-	<b>▲5.7</b>

## ◆償還価格改定に伴う価格交渉

メーカー・医療機関とともに、概ね妥結

## ◆PTCAバルーンカテーテル一括買取

顧客医療機関へ拡販、計画通りに進捗

## ◆営業拠点の統合、新設

## 売上高

前年同期比 **+6.1%**

計画比 **▲3.1%**

## 計画未達も増収を確保

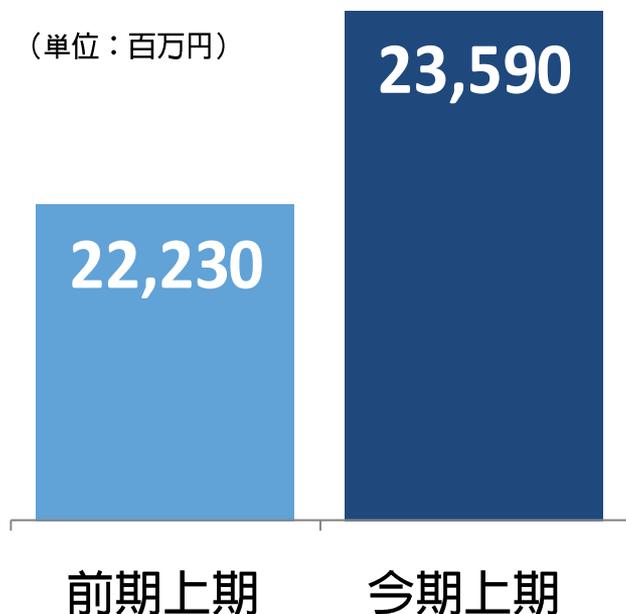
【プラス要因】

**CRS、CVS、大型機器等が好調**

【マイナス要因】

**PCI、PPIの数量は増加したが、  
販売価格の下落により、  
減収、計画未達**

(単位：百万円)



# 分類別売上高の状況

	金額 (百万円)	売上高伸長率(%)		売上高構成比	
		数量	金額	比率(%)	増減(ppt)
虚血性心疾患関連(PCI)	10,003	+0.7	▲ 0.3	42.4	▲ 2.7
心臓律動管理関連(CRS)	4,634	+26.9	+10.7	19.6	+0.8
心臓血管外科関連(CVS)	3,305	▲ 7.2	+15.5	14.0	+1.1
末梢血管疾患関連(PPI)	1,309	+5.3	▲ 3.3	5.6	▲ 0.5
脳外科関連	760	+13.0	+10.5	3.2	+0.1
糖尿病関連(DMS)	278	-	+10.8	1.2	+0.1
大型医療機器関連	1,586	-	+23.6	6.7	+0.9
その他	1,712	-	+8.9	7.3	+0.2
合計	23,590	-	+6.1	100.0	

※今期より「その他」の基準の見直しを行い、前期数値も比較可能に組み替えております。

## PCI

市場全体が伸び悩むなか、新規顧客の開拓が遅れ、主力の**DES**の販売数量が**5%増**に留まり、計画未達

## CRS

心筋焼灼術(**EP・アブレーション**)が好調  
**MRI**対応型製品(**PM・ICD・CRTD**)も好調、新規取引先も寄与

## CVS

ステントグラフトが好調。**TAVI**は顧客施設の施設基準認定が遅れ、実績**47**症例。オンポンプ症例数の減少により、計画はわずかに未達

## PPI

シャント症例数の増加により、**PTA**/バルーンカテーテルは好調  
末梢ステントの販売数量減により、計画未達

## 大型医療 機器関連

医療施設の新築・増改築案件の獲得で堅調

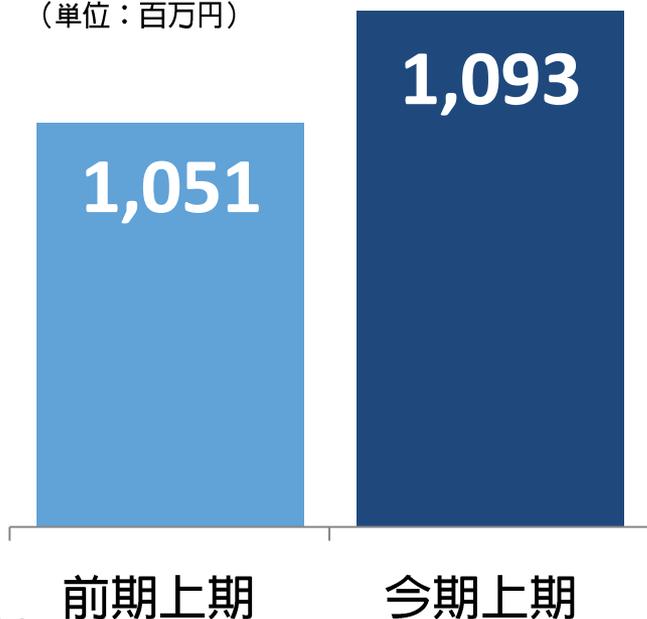
## その他

消化器系製品が好調

## 営業利益

前年同期比 **+4.0%**  
 計画比 **+3.1%**

(単位：百万円)



## 販管費コントロールにより、 営業利益は計画達成

### 売上総利益率

実績 **13.3%**

計画比 **+0.1ppt**

・PTCAバルーン買取等

前年同期比 **▲0.2ppt**

・高利益率のPCI・PPIの減収

・新規顧客獲得やステントグラフトの増加等により、CVSの利益率低下

### 販売管理费率

実績 **8.7%**

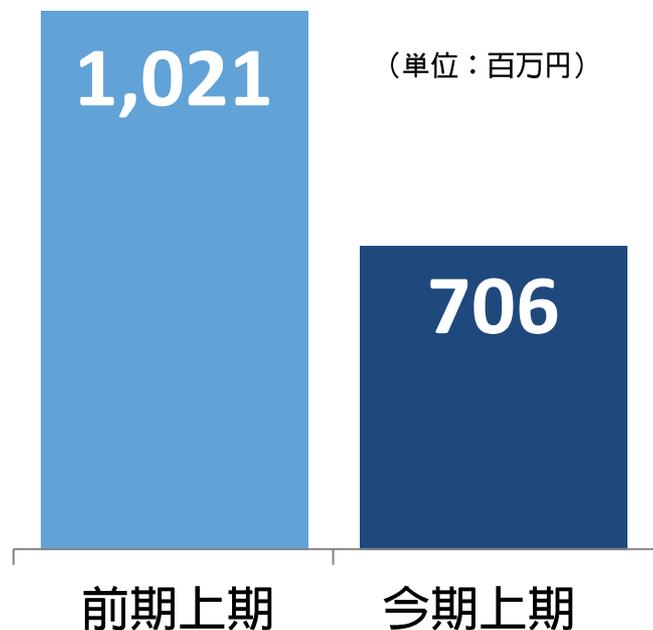
計画比・前年同期比 **▲0.1ppt**

## 四半期純利益

前年  
同期比 ▲ **30.8%**

計画比 **+8.4%**

**前期の経営統合による  
特別利益 377 百万円の反動**  
(負ののれん発生益、テスコ株の差益)



# 連結貸借対照表

	2014年3月末		2014年9月末		増減金額 (百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
<b>流動資産</b>	23,922	88.8	<b>21,429</b>	<b>86.7</b>	<b>▲2,493</b>
現金・預金	8,563	31.8	6,328	25.6	▲2,235
売上債権	13,798	51.2	12,383	50.1	▲1,415
商品	1,124	4.2	1,943	7.9	819
その他流動資産	436	1.6	773	3.1	337
<b>固定資産</b>	3,011	11.2	<b>3,291</b>	<b>13.3</b>	<b>279</b>
<b>資産合計</b>	26,934	100.0	<b>24,721</b>	<b>100.0</b>	<b>▲2,213</b>
<b>流動負債</b>	15,326	56.9	<b>12,817</b>	<b>51.9</b>	<b>▲2,509</b>
仕入債務	14,276	53.0	12,018	48.6	▲2,257
未払法人税等	500	1.9	371	1.5	▲129
その他流動負債	549	2.0	428	1.7	▲121
<b>固定負債</b>	374	1.4	<b>404</b>	<b>1.6</b>	<b>30</b>
<b>負債合計</b>	15,701	58.3	<b>13,222</b>	<b>53.5</b>	<b>▲2,478</b>
<b>純資産合計</b>	11,233	41.7	<b>11,498</b>	<b>46.5</b>	<b>265</b>
<b>負債・純資産合計</b>	26,934	100.0	<b>24,721</b>	<b>100.0</b>	<b>▲2,213</b>

製品一括買取  
による増加

前期末より+72.9%

前期増税前の  
大型機器の  
駆込み需要の  
影響

# 連結キャッシュ・フロー

	(単位:百万円)	前期上期	当期上期
<b>営業キャッシュ・フロー</b>		<b>738</b>	<b>▲1,288</b>
税金等調整前四半期純利益		1,435	1,105
減価償却費		108	123
負ののれん発生益		▲196	0
段階取得に係る差益		▲180	0
売上債権の増減額(△は増加)		1,154	1,415
たな卸資産の増減額(△は増加)		▲119	▲819
仕入債務の増減額(△は減少)		▲898	▲2,257
法人税等の支払額		▲599	▲528
<b>投資キャッシュ・フロー</b>		<b>▲335</b>	<b>▲486</b>
有形固定資産の取得による支出		▲295	▲436
その他(投資CF)		▲40	▲50
<b>財務キャッシュ・フロー</b>		<b>▲355</b>	<b>▲459</b>
配当金の支払額		▲355	▲459
<b>現金・現金同等物の増減額</b>		<b>47</b>	<b>▲2,235</b>
現金・現金同等物の期首残高		4,611	8,563
株式移転による現金及び現金同等物の増加額		2,269	0
<b>現金・現金同等物の期末残高</b>		<b>6,928</b>	<b>6,328</b>

前期増税前の  
大型機器の  
駆込み需要の  
影響

テスコ本社  
新築移転

# 2015年3月期 業績予想

---

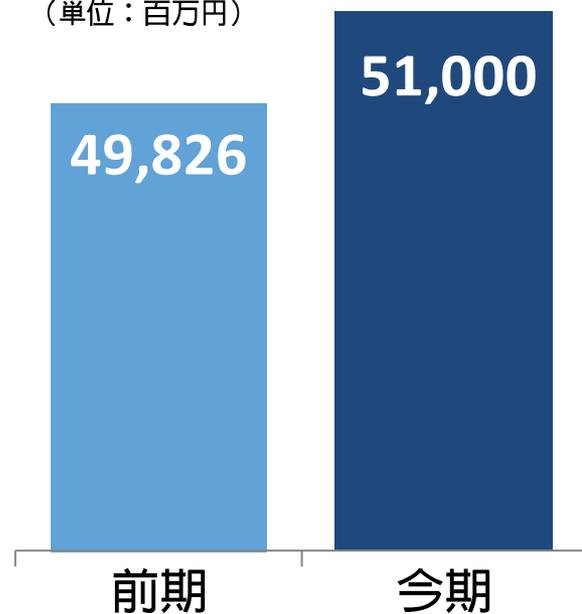
## 期初予想に変更なし

2015年3月期	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	51,000	100.0	+2.4
営業利益	2,573	5.0	+3.8
経常利益	2,578	5.1	+3.2
当期純利益	1,659	3.3	▲9.9
1株当たり純利益(円)	115.59	-	▲9.9
1株当たり配当金(円)	35.0	-	+9.4

# 売上高 +2.4%

(前期比)

(単位：百万円)



## 【期初計画達成に向けて】

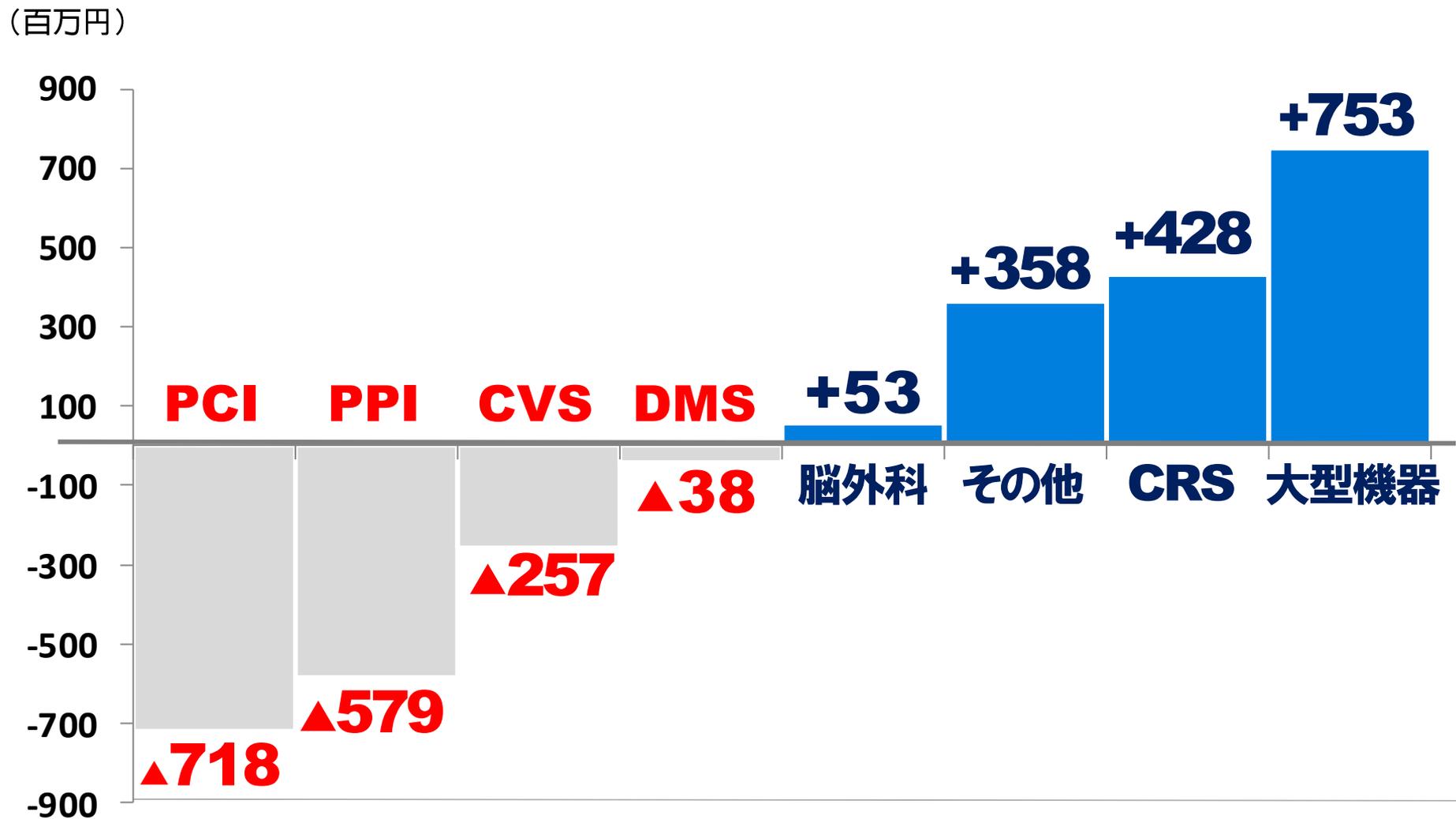
- 上期開設の広島、熊本拠点の寄与、下期に北海道函館市に進出
- 新規顧客の獲得(**PCI**、**CVS**、**CRS**等)
- 大型医療機器、その他案件の獲得

⇒ 分類別売上高は  
上期状況を鑑み、見通しを修正

# 分類別売上高見通し（修正後）

	売上高(百万円)	前期比(%)
虚血性心疾患関連( <b>PCI</b> )	<b>21,390</b>	<b>+1.7</b>
心臓律動管理関連( <b>CRS</b> )	<b>9,750</b>	<b>+13.3</b>
心臓血管外科関連( <b>CVS</b> )	<b>7,040</b>	<b>+6.7</b>
末梢血管疾患関連( <b>PPI</b> )	<b>2,690</b>	<b>+0.0</b>
脳外科関連	<b>1,570</b>	<b>+5.3</b>
糖尿病関連( <b>DMS</b> )	<b>620</b>	<b>+20.3</b>
大型機器関連	<b>4,550</b>	<b>▲24.9</b>
その他	<b>3,390</b>	<b>+19.6</b>
合計	<b>51,000</b>	<b>+2.4</b>

# 分類別売上高見通し：期初との差異



## ◆ 下方修正

**PCI** 新エリアの顧客獲得の見込みだが、上期の未達分をカバーできず

**PPI** PTAバルーンは好調だが、末梢ステントの数量減が下期も続く見通し

**CVS** ステントグラフトが引き続き好調、TAVIの新規顧客も見込むが、  
上期の未達分をカバーできず

## ◆ 上方修正

**大型医療  
機器関連** 増税前の駆け込み需要の反動で前期比マイナスだが、  
設備更新等の小規模案件の増加が寄与

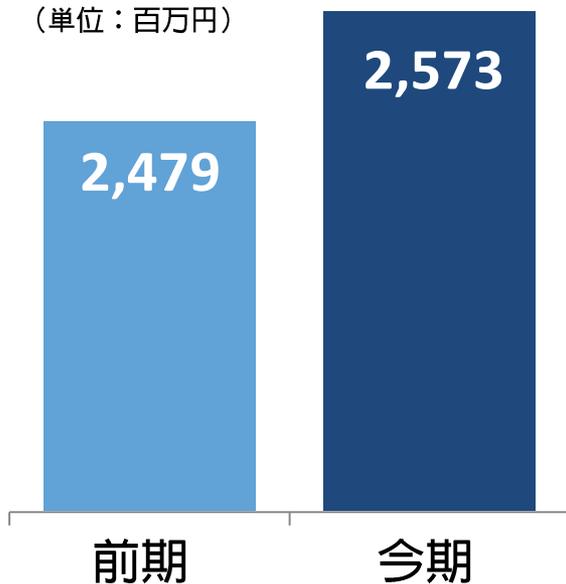
**CRS** EP・アブレーションが好調、新規顧客が寄与

**その他** 消化器関連、機械保守等が順調

## 営業利益 +3.8%

(前期比)

(単位：百万円)



### 売上総利益率

\*見直し後 **13.1%**

期初計画比 **▲0.2ppt**

前年同期比 **+0.3ppt**

・PCI等の売上構成比の変化

・一括買取の拡大によるコストダウン  
(PTCAバルーンに加え、DES等)

・販売数量増によるリベート獲得等

### 販売管理費率

\*見直し後 **8.0%**

期初計画比 **▲0.3ppt**

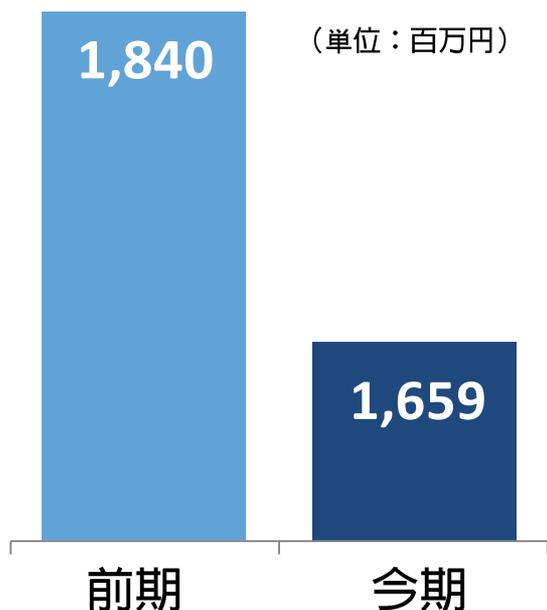
前年同期比 **+0.1ppt**

## 当期純利益

# ▲9.9%

(前期比)

前期の経営統合による特別利益  
(負ののれん等、378万円)の反動



## 設備投資・減価償却費

### 設備投資

# 6.9億円

(前期9.6億円:▲28.5%)

### 減価償却費

# 2.7億円

(前期2.4億円:+14.2%)

2014年3月期

2015年3月期

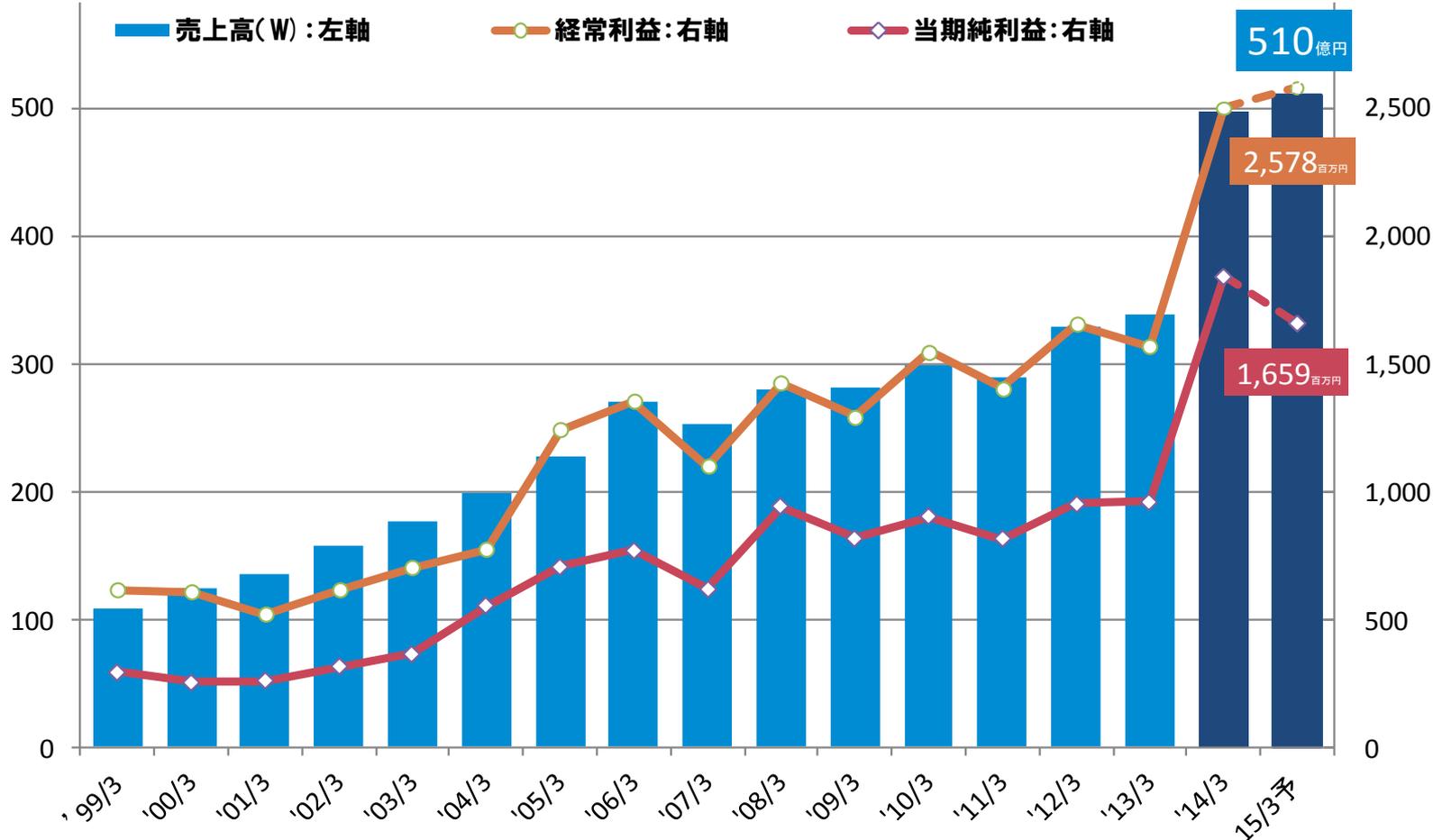
2016年3月期

- ・ グループ経営体制の整備
- ・ テスコのガバナンス強化
- ・ 会計システムを統一
- ・ 営業情報共有による新規顧客開拓
- ・ 重複する福島県の営業所を統合  
(4月1日完了)
- ・ 情報系システムを統一
- ・ 仕入交渉窓口を一元化

## ウイン・パートナーズとして更なる成長を目指す

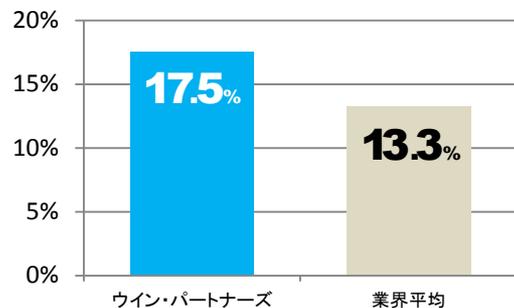
(単位: 億円)

(単位: 百万円)

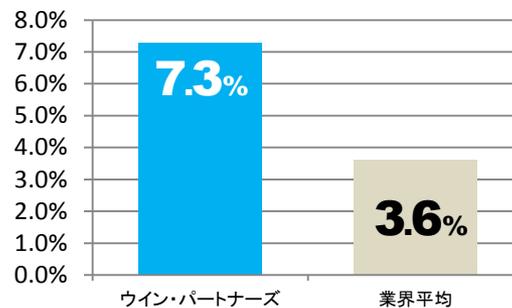


# 同業他社比較（2013年度）一覽

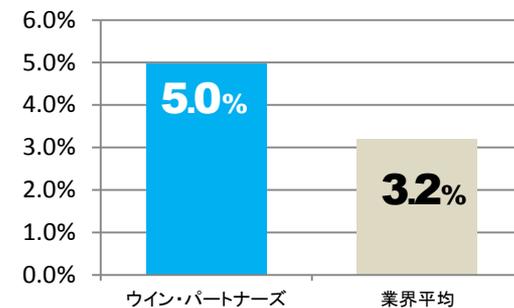
## ROE



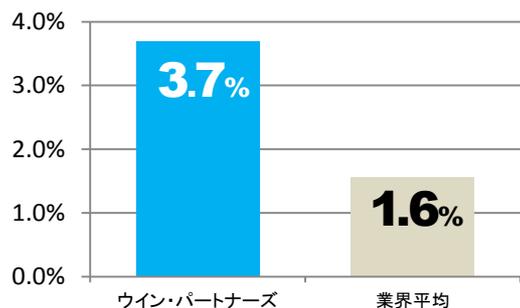
## ROA



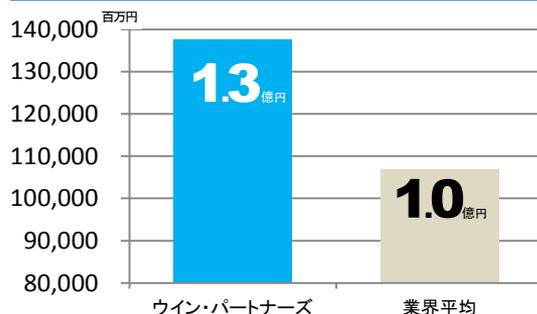
## 売上高営業利益率



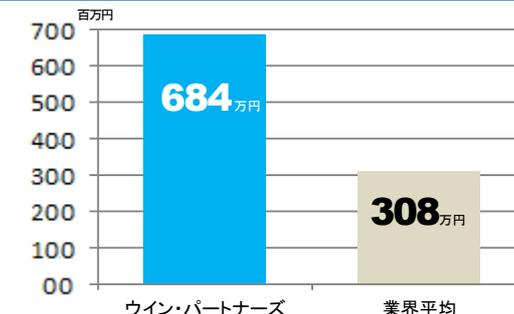
## 売上高当期純利益率



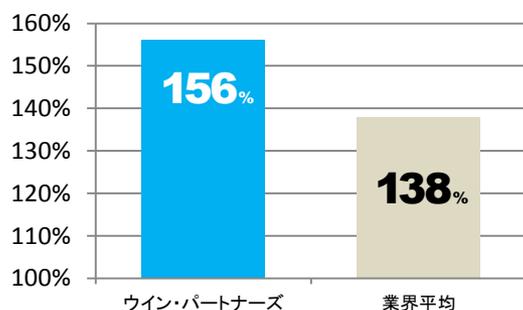
## 一人当たり売上高



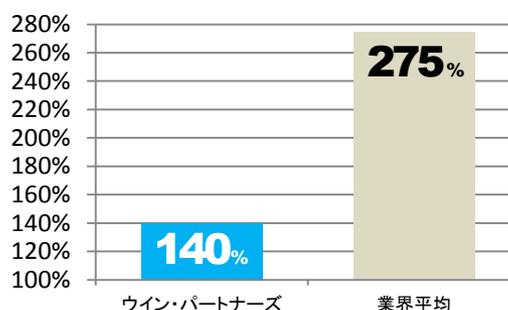
## 一人当たり営業利益



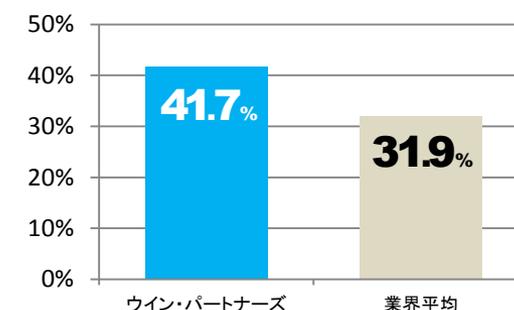
## 流動比率



## 負債比率



## 自己資本率



## ①償還価格の改定

⇒ 当社グループへの影響は

平均 ▲**5.7%** (対売上高)

## ②病院要件の厳格化

⇒ 急性期病院※が **30%** 程度削減される見込み



**顧客施設における機能の二極化が加速**

※急性期病院: 緊急・重症の患者に高度で専門的な医療を提供する病院

## 当社グループへの影響

**販売価格の低下傾向は今後も続く**

## 当社グループ戦略

### (1) 循環器領域におけるドミナント戦略

- **CRS、CVSに人員を集中投入**
- **販売数量拡大、高付加価値製品の拡販**
- **販路拡大による仕入のコストダウン**

### (2) 新購買戦略

**一括買取：在庫リスクを取り、高利益率を確保**

### 当社グループの顧客への影響

**医療機関は機能二極化が加速する**

### 当社グループ戦略

**(1) 急性期病院として存続する病院に対しては**

- ・急性期病院<sup>※1</sup>としての機能強化サポート
- ・新規ビッグユーザー獲得へのアプローチ

**(2) 急性期病院から転換する病院に対しては**

- ・亜急性期病院等<sup>※2</sup>への機能転換サポート

※1 急性期病院: 緊急・重症の患者に高度で専門的な医療を提供する病院

※2 亜急性期病院: 急性期を乗り越えて病状が安定し、リハビリや退院支援をする病院

## 虚血性心疾患関連 (PCI)

ステント



## 心臓律動管理関連 (CRS)

ペースメーカー



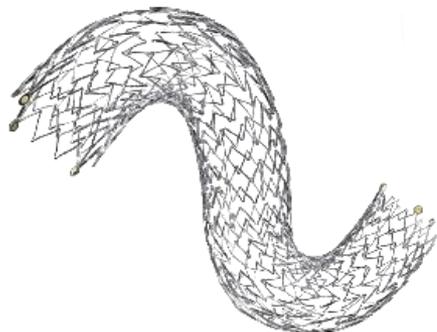
## 心臓血管外科関連 (CVS)

ステントグラフト



## 末梢血管疾患関連 (PPI)

ステント



## 脳外科関連

塞栓用コイル



## 糖尿病関連 (DMS)

インスリンポンプ



## 大型医療機器関連

MRI





この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。  
当資料に記載された内容は、**2014年11月20日現在**において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

**本資料に関するお問合せ先:ウイン・パートナーズ株式会社 社長室**

**TEL: 03-6895-1234 FAX:03-5688-0891**

**HP:<http://www.win-partners.co.jp>**

**WIN A BETTER QUALITY OF LIFE**  
**すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ**